

中間堰かわら版

昨年10月から本格的に工事に着手した「中間堰改築工事」につきまして、地域のみなさまに工事の状況などを「中間堰かわら版」でお伝えしていきます。

■工事の目的と内容

なぜ中間堰を改築する必要があるの？

- 近年、大雨による洪水被害が全国各地で発生しており、遠賀川でも平成21年7月と平成22年7月に大雨による洪水が発生し、水位が非常に高い状態となりました。
- このことから川の掘削とそれに伴う中間堰の改築を行い、川の断面を大きくすることで洪水の時の水位を低下させ、地域の洪水に対する安全度を高めます。

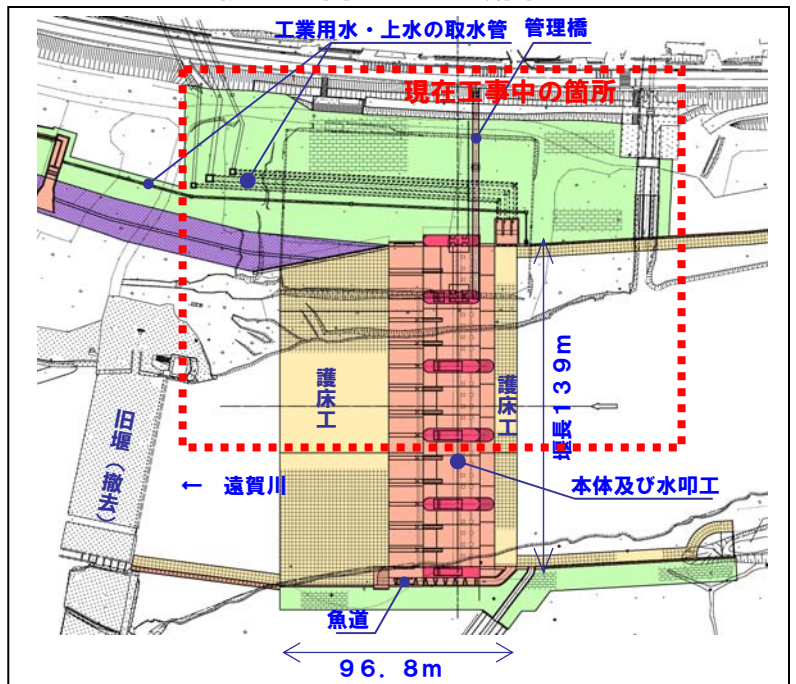
新しい中間堰の大きさは？

事業期間	平成21年度～平成27年度
堰長	139.0m（魚道を含まず）
ゲート	制水ゲート 高さ3.63m×幅22.7m×4門 調節ゲート 高さ3.63m×幅18m×1門

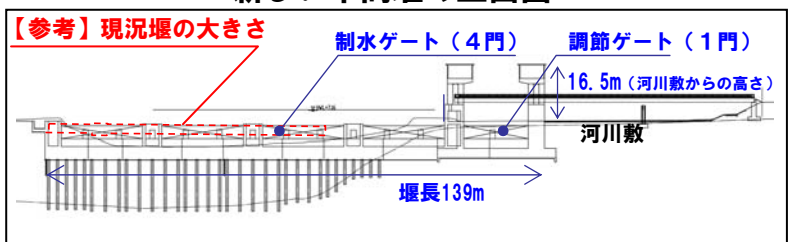
現在行っている工事の内容は？

- 現在は右の一般図に示します赤枠の箇所の工事を行っています。
- 主に東側（土手ノ内側）で工事を行っており、堰を造るために川の中の掘削や堰本体のコンクリート打設、堰を支える杭を打つ工事です。
- 平成25年5月まで清水建設株式会社が主体となり工事を行っています。
- なお、毎年6月～9月は洪水期のため工事は一時中止となります。

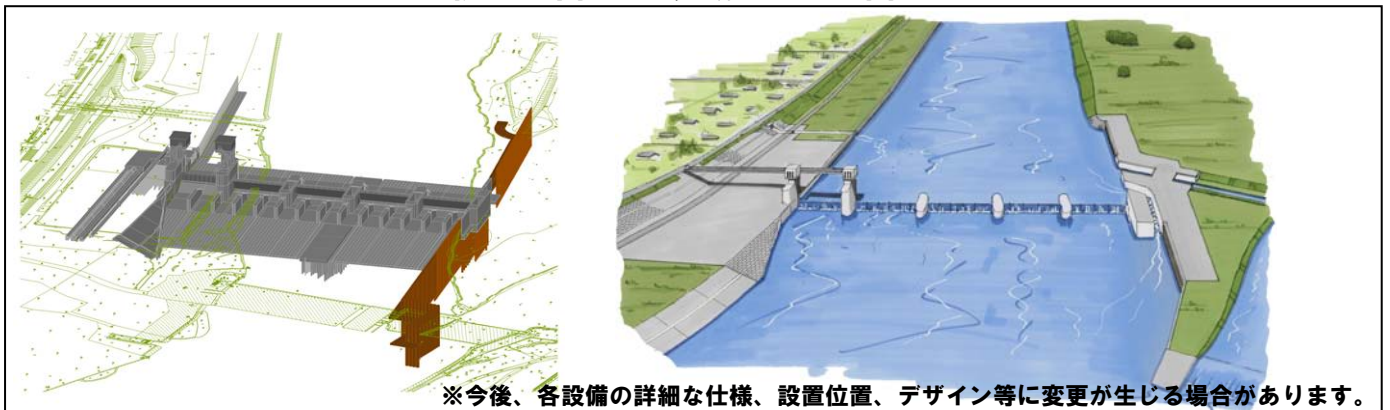
新しい中間堰の一般図



新しい中間堰の正面図



新しい中間堰の完成イメージ図



※今後、各設備の詳細な仕様、設置位置、デザイン等に変更が生じる場合があります。

■平成23年10月～平成24年5月までの工事スケジュール

	平成23年			平成24年				
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
締切矢板設置	■	■	■					
川の中の掘削			■	■	■			
杭打ち				■	■			
堰本体コンクリート				■	■	■	■	
締切矢板撤去							■	■

■現在の工事状況

平成24年1月6日撮影



川の中に矢板を打って水抜きを行い、ドライにした状態で機械を川の中に入れて工事を行っています。



堰本体を工事するためにバックホウで土砂の掘削を行っています。



堰本体のコンクリートを打設する前に鉄筋を組み立てています。この後、コンクリートを打設します。



堰を支える杭を施工中です。杭は大きな堰を支えるために地中深くの岩盤まで打ち込みます。

中間堰改築工事に関する問い合わせ先

工事の発注者：国土交通省 九州地方整備局 遠賀川河川事務所 中間出張所 電話 093-245-0154
 工事の請負者：清水建設株式会社 中間堰改築工事作業所 電話 093-243-3745